



「未来社会デザイン工学科」誕生

福井高専は、5学科から
[1学科5系9コース]体制へ。
情報技術で未来社会を
デザインするために進化します。

令和8年度

ココが
新しく
なる!

- 電子情報工学科は、AI・ネットワークなどの高度な情報技術を学ぶ、「情報系コンピュータサイエンスコース」に変わります。
- 情報系以外の4つの系(旧学科)は、これまでの学科の授業内容を引き継ぐ「専門探求コース」と、専門と情報技術の融合を学ぶ「情報融合コース」に分かれます。

現行の「学科」[定員200名]が「系」に変更となります。

▶ 未来社会デザイン工学科 1学科5系9コース [定員200名]

機械工学科 [40名]	機械系	マシナリーシステムコース [30名] i-マシナリーシステムコース [10名]
電気電子工学科 [40名]	電気電子系	エネルギー・エレクトロニクスコース [30名] i-エネルギー・エレクトロニクスコース [10名]
物質工学科 [40名]	材料・生物系	グリーンマテリアルコース [30名] i-グリーンマテリアルコース [10名]
環境都市工学科 [40名]	都市・建築系	アーバンデザインコース [30名] i-アーバンデザインコース [10名]
電子情報工学科 [40名]	情報系	コンピュータサイエンスコース [40名]

入試はこれまでと同じく、系(旧学科)ごとに募集します!

各系の募集人員
40名

推薦選抜
1月上旬/各系28名 募集

学力選抜
2月上旬

※コースへの割り振りは2年後期に行いますので、入学時は系のみを選択します。

※設置計画は現在、文部科学省に認可申請中です。内容は変更となる可能性があります。

情報融合コースの目標

未来社会デザイン工学科は、より良い未来社会を創るために、各系で学ぶ高度な**専門知識**と**情報技術を中心とした他分野の知識**を上手に結び付けて、広い視野で問題解決をデザインできる人材の育成を目指します！

情報融合コースのカリキュラムの特徴

情報融合コースでは、2～4年次に、4つの系の学生が合同で行う共通科目があり、演習や実習を通してプログラミングやIoT技術を学びます。さらに一部の科目は、コンピュータサイエンスコースの学生と共同で学びます。

4、5年次には、それぞれの系の専門分野において、情報技術を活用しながら問題を解決する手法を学ぶ科目が用意されています。



「情報融合コース」・「コンピュータサイエンスコース」カリキュラム概要

